

全海運第276回理事会並びに第50回通常総会議事録について

さて、早速ながら去る6月3日開催の第276回理事会並びに6月18日開催の第50回通常総会の議事録を別紙の通りご案内申し上げます。

尚、当会はこれまで議事録署名人制度の導入を図り国土交通大臣へ定款の一部変更申請を致しておりました処、5月8日付けをもって認可が下りましたので6月3日の理事会より同制度を実施することと致しましたことをお知らせ申し上げます。

平成20年6月27日

全国海運組合連合会

全国海運組合連合会
第276回理事会議事録

日 時 平成20年6月3日(火) 12:00~14:38

場 所 神戸市・生田神社会館・4階会議室

出席者 理事46名(別紙名簿の通り)

平成20年春 黄綬褒章受章者報告並びに記念品贈呈
受章者理事里村定夫氏

議 題

I. 審議事項

1. 理事並びに委員交代の件
2. 平成19年度事業報告書及び財産目録・貸借対照表及び収支決算書承認の件
3. 平成20年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
4. " 徴収賦課金分担(案)承認の件
5. その他

II. 報告事項

1. 内航海運活性化プロジェクトチーム報告
2. 砂利船部会報告
3. 船主部会報告
4. その他

議 事

定刻、出席理事の過半数を得て本理事会は、適法に成立し定款の定めにより小比加会長が議長となり本理事会は、来る6月18日開催の第50回通常総会への上程議案の審議を願うため開催した旨の挨拶の後、議題審議に先立ち事務局より平成20年春の褒章受章者として黄綬褒章を受章された里村定夫氏を報告した後、内規により小比加会長より銀杯を贈呈した。この後、里村理事より丁重な謝辞が述べられ、議事に入った。

議 題 1. 理事の交代の件

本件について事務局は、以下の通り三組合(連合会)からの交代願いを報告した。

(以下、敬称略)

- ①静岡県内航海運組合・部会委員交代願い

○船主部会委員
(新) (旧)
木村安仁 望月省吾
鳳生汽船(株)専務取締役

②中部沿海海運組合・部会等委員交代願い

○輸送部会委員
(新) (旧)
春木謙助 寺岡洋一
愛知海運(株)代表取締役社長

○環境安全委員会委員
(新) (旧)
伊藤 清 寺岡洋一
名港海運(株)常務取締役

③九州地方海運組合連合会・理事並びに部会委員交代願い

○理事
(新) (旧)
山平鉄雄 関 三吉
(有)協和海運代表取締役

○砂利船部会
(新) (旧)
中村 満 中村 亘
(株)有明商事取締役副社長

この後、議長が本件を諮った処、異議無く承認された。

議 題 2. 平成19年度事業報告書及び財産目録・貸借対照表及び収支決算書承認の件

本件については、議長指示を受け事務局は、大要以下の通り説明した。

[1] 平成19年度事業報告書の件

本件、報告書の概要を説明した。

尚、特にこの中で3月19日開催された第275回理事会並びに臨時総会で機関決定した現行定款第34条(総会の議事録)について議事録署名制度の導入を図ることとなり、これまで国土交通大臣へ定款変更の認可申請を行っていた処、去る5月8日大臣認可が下りたことを付言した。

[2] 平成19年度収支決算書・財産目録・貸借対照表の件

本件、大要以下の通り説明した。

①平成19年度収支決算算書

(1) 収入の部決算額 143,783,088円
(収入の部大要)

科目：賦課金は、予定分担額の通り入金、暫定事業手数料は、ほぼ予算

通り、総連合会補助金は、臨時補助金受け入れにより2,500万円余の増、雑収入は、当初予定の構造改善引当金の取り崩しを要せず200万円の減等により、予算比約2,280万円の収入増となった。

(2) 支出の部決算額 143,783,088円

(支出の部大要)

科目：役員・委員旅費は、開催地神戸での多数会議の結果で約69万円の減、構造改善事業費は、総連合会からの臨時補助金を受け2,300万円を配分したことにより同額の2,300万円の増、通信費は、特にFAX使用増加により50万円の増、印刷費は、委員名簿作成未執行で69万円の減、事務局旅費は、神戸地開催会議の増加により64万円の増、報酬・給料・賞与は、140万円の減、雑給は、手当改定により79万円の増、租税公課は、納税引当金繰入により75万円の増、雑費は、内航保険サービス社の精算に伴う出資損失金の発生により74万円の増等により支出の部は、予算比2,280万円の支出増となった。

(3) 収支結果 収支0円

②財産目録

○ 資産合計 224,582,635 (円)

○ 負債合計 142,071,839

○ 正味財産 82,510,796

*尚、負債額の増加は、期末に建造納付金、臨投納付金等預かり金である総連合会勘定が増加したことにある。

③貸借対照表

○ 借方合計 1億2,369 (万円)

○ 貸方合計 1億2,369

*尚、貸方合計の内、基金として8,251万円を含む。

この後、監事を代表して狩野監事より5月22日に実施した業務並びに決算監査の結果については、いずれも適法且つ正確であった旨の報告があり、この後、議長が本件を諮った処、異議無く承認された。

議 題3. 平成20年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

本件については、議長指示を受け事務局は大要以下の通り説明した。

①平成20年度事業計画(案)について

事業計画案については、事前に船主部会等三部会の意見を求め総務委員会で検討の上、立案したものであり、内容として前文は、一部修文したこと及び事業達成項目については、第1の運賃・用船料の項目について一部修文したこと及びあらたに「内航海運のPR活動の推進」の項目を追加したことである。

この後、議長が本件の意見を求めた処、前文に記述する「市場原理が働かず云々」の箇所は、実状とは逆の表現であり不相当との発言があり、議長が本件の意見を求めた処、特になく議長より執行部一任の了承を得て修文することとしたいと提案し了承された。

②平成20年度収支予算(案)について

(1) 予算規模については、対前年度予算比11%増、1,330万円増の1億3,420万円とした。

(2) 収入の部大要

科目：賦課金については、対前年度予算比70万円減の7,330万円を計上、暫定措置事業等手数料は、前年度比60万円減の720万円を計上、総連合会事業推進収入は、これまでの科目名称である「総連合会補助金」を改称、計上額の4,600万円の内容は、これまでの総連合会補助金の廃止を受けて、総連合会と折衝の結果、あらたに組合事業推進制度を立ち上げ、内訳として①建造申請手数料等としてこれまでの5年間(14年度～18年度)の納付実績の半額(50%)の還元を受く(3,442.5万円)及び②構造改善賦課金の徴収事務委託料として還元を受く(1,162.8万円)の合計4,605.3万円(但し、最低保証額として3年間固定、これ以後は、見直す。)の交付を受けることによる。

又、雑収入は、支出予算を考慮し構造改善引当金を570万円取り崩し収入不足に対応する。

以上により収入予算額として総額1億3,420万円を計上した。

(3) 支出の部大要

科目：組合事務推進費は、あらたに科目を新設し総連合会からの事業推進収入の50%相当額である2,300万円を会員組合(18組合)へ配分する。構造改善事業費は、創立50周年記念行事費用として1,300万円を折り込み合計1,420万円を計上。及び租税公課は、50周年行事費用を考慮し200万円を概算計上した。

以上により支出予算額として総額1億3,420万円を計上した。

この後、議長が本件を諮った処、異議なく了承された。

議 題4. 平成20年度徴収賦課金分担(案)承認の件

本件、事務局より只今平成20年度予算(案)の承認を得た通り、この中で賦課金については、以下の通り総額73,375,620円を北海道内航海運組合等18の会員組合にご負担のご協力をお願いするものであると説明した。

(内容)	平成20年度賦課金分担年額	73,375,620	(円)
	〃 19年度賦課金	〃 74,167,932	
	対19年度増減額	減792,312	
	〃 増減率	減	1%

この後、議長は、本件承認方を提案した処、異議無く承認された。

議 題5. その他

本件については、特に案件は、無かった。

Ⅱ. 報告事項

1. 内航海運活性化プロジェクトチーム報告

本件、蔵本委員長より以下の通り報告があった。

当委員会は、総連合会の方針である平成25年度以降の内航海運暫定措置事業の在り方について平成20年度中の取りまとめ方針を受けて現在、総連合会政策小委員会(委員長：雑喉全海運副会長)において本年10月頃の取りまとめ予定に向け精力的に検討を重ねており、その意見反映のための検討機関として

対応している。

ついて、当委員会は、「平成19年度・中間取りまとめ」については、先に理事各位にはFAX及びホームページでご案内した通りであり内容説明は省略すると述べ現在の問題点として次の通り説明した。

第1点として、当委員会は、船齢20年船の推測値として、平成25年度及び平成27年度で船齢20年を越える船種毎に船舶（船腹量）を調査した。

この結果、25年度の船舶は、資料の如く旧規程船及び暫定船の合計で1,789,046D/Wであり、又、27年度の船舶は、2,221,158D/Wと試算した。

第2点として、上記の如くかなりの老朽船が残存し何時まで運航出来るか、又リプレースの時期・タイミングが可能なのか、更に造船所の船台の問題、留保申請期間（解撤後3年以内）でのリプレースの可能性如何等々の問題点を抱えている。

この後、議長より、資料（5）のP1・1（5）の②については、政策小委員会の検討項目でないため削除方の発言があり、この後、議長が全般にわたり意見を求めた処、特になく本件了承された。

2. 砂利船部会報告

本件については、齊藤部会長は、資料に基づき3月27日開催の第136回部会結果を報告した。

3. 船主部会報告

本件については、小田原部会長は、資料に基づき4月17日開催の第166回部会結果を報告した。

4. その他

①全海運物産直販事業推進の件

本件、塚本物産直販委員長より先般の日通商事（株）との協議において、全海運独自のカタログの製作を止めて今後、日通商事（株）使用カタログを用いることによりカタログ代の負担が無くなったこと及びカタログ価格については、これまでの5%割引から全品8%割引に拡大されたこと等の説明の後、お中元の時期を迎えて販売促進に向け各位への協力方要請があった。

②今後の全海運開催会議の件

本件、事務局は、今後の全海運開催会議について資料に基づき報告した

この後、議長より冒頭事務局から事業報告書の中で説明した通り、去る3月19日開催の第275回理事会並びに臨時総会で承認を得た議事録署名人制度創設に伴う定款の一部変更については、5月8日付けを以て国土交通大臣の認可が下りたことから本日の理事会から本制度を実行したいと述べ、議事録署名人として議長の他、雑喉副会長及び高木専務理事を指名した。

これにて全ての議案審議が終了したので議長は、謝辞の後14:38閉会を宣した。

以上

全国海運組合連合会

第276回理事会出席者名列

(平成20年6月3日)

理事・会長(議長)	小比加 恒 久	理 事	藤 井 英 雄
“ 副会長	雜 喉 平三郎	“	城 戸 常 太
“ “	埤 野 廣 文	“	藤 井 肇
“ “	木 許 作 太	“	岡 本 信 也
“ 専務理事	高 木 信 男	“	向 江 清
“	澁 田 政 盛	“	冲 本 新 良
“	湯 村 健 介	“	吉 本 圭 介
“	池 田 謙 一	“	岡 本 俊 夫
“	岩 井 榮 三	“	井 下 光 一
“	渡 邊 輝 雄	“	井 村 博
“	串 田 素 宏	“	坂 崎 誠 一
“	飯 田 節 男	“	杉 本 敏 夫
“	寺 岡 洋 一	“	里 村 定 夫
“	金 尾 雅 行(代：網谷吉博)	“	田 崎 久 光
“	藤 原 浩	“	西 田 宏 夫
“	吉 嶺 武 強	“	谷 伸 夫
“	川 中 健 二	“	松 尾 幸 長
“	和 佐 信 孝	“	斉 藤 通 直
“	加 藤 榮 一	“	原 田 勝 弘
“	塚 本 博 行	“	日 向 啓
“	小 林 道 明	“	松 本 雅 彦
“	小田原 照 明	“	比 嘉 榮 仁(委任状)
“	船 田 孝 敏		
“	蔵 本 由紀夫		

以 上 46名

内訳：本人出席 44名
代理人出席 1名
委任状出席 1名

議事録署名人

議長(会長)	小比加 恒 久
副会長	雜 喉 平三郎
専務理事	高 木 信 男

全国海運組合連合会
第50回通常総会議事録

日 時 平成20年6月18日(水) 11:00～11:20

場 所 東京都千代田区平河町2-4-3
ホテル・ルポール麹町・3階・マーブル

総議決権数48 総会員数 18
出席議決権数48 出席会員数 18

内訳、本人出席 12
代理人出席 3
委任状出席 3
合 計 18

出席会員名	代表者名	組 合 員 数	議 決 権 数
北海道内航海運組合	澁田政盛	43	1
東北内航海運組合	湯村健介(代高橋征支)	25	1
新潟内航海運組合	池田謙一(委任状)	14	1
関東沿海海運組合	小比加恒久	79	2
千葉県内航海運組合	松田紀道	87	2
横浜地方海運組合	串田素宏	30	1
静岡県内航海運組合	飯田節男	20	1
中部沿海海運組合	寺岡洋一	63	1
東海内航海運組合	河合重則(委任状)	91	2
富山石川内航海運組合	金尾雅行(代網谷吉博)	7	1
大阪海運組合	藤原 浩	60	1
日本沿岸曳船海運組合	小田原照明	130	3
兵庫海運組合	加藤榮一	100	2
和歌山県海運組合	田廣芳弘(代小林道明)	22	1
四国地方海運組合連合会	雑喉平三郎	304	6
中国地方海運組合連合会	埜野廣文	476	10
九州地方海運組合連合会	木許作太	536	11
沖縄地方内航海運組合	比嘉榮仁(委任状)	38	1
合 計 18 会 員		2,125	48

提案議題

- 第1号議案 平成19年度事業報告書及び収支決算書・財産目録・貸借対照表承認の件
- 第2号議案 平成20年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件
- 第3号議案 平成20年度徴収賦課金分担(案)承認の件

第4号議案 その他

定刻、事務局より本総会は、定款第30条の定めによる出席会員が定足数に達し、本総会は、適法に成立した旨、報告の後、小比加会長の開会挨拶があり、次いで事務局から定款第31条の定めにより本総会の議長選出を諮った処、満場一致で会長である小比加恒久氏が選出された。

小比加議長は、直ちに議長席に着き就任挨拶の後、議事に入った。

(議 事)

議 題

第1号議案 平成19年度事業報告書及び収支決算書・財産目録・貸借対照表承認の件

議長より、本件については、去る6月3日開催の第276回理事会において慎重審議の結果、承認を得ている処であると前置きの後、事務局は議長の指示を受け資料を要約説明した。

次いで、監事を代表して中澤監事より5月22日実施した業務並びに会計監査の結果、何れも適法且つ正確に処理されている旨の監査報告があった。

この後、議長は本案の承認方を提案した処、原案の通りで出席会員代表全員の異議が無く承認可決された。

第2号議案 平成20年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件
並びに、

第3号議案 平成20年度徴収賦課金分担(案)承認の件

議長は、両案については相互に関連があるので一括して提案したいと述べ、両案共6月3日開催の第276回理事会で慎重審議の結果、承認を得ていることから事務局に資料の要約説明を指示した。

この後、議長より両案一括して承認方を提案した処、原案通りで出席会員代表全員の異議が無く承認可決された。

第4号議案 その他

本件については、議長より今後期中において発生する理事、監事の交代等、総会審議事項で緊急を要する件については、理事会に一任を頂きたいと提案があり、本件を諮った処、出席会員代表全員の異議が無く承認可決された。

この後議長は、本日の第50回通常総会の議事録署名人として、議長の他、雑喉副会長及び串田理事を指名した後、これをもって第50回通常総会の議案審議が全て終了したので、11:20謝辞の後、閉会を宣した。

以上

全国海運組合連合会
 第50回通常総会出席者名列
 (平成20年6月18日)

関東沿海	代表 (議長)	小比加 恒 久	
北海道	"	澁田 政 盛	
東北	"	湯村 健 介	(代,高橋征支)
新潟	"	池田 謙 一	(委任状)
千葉	"	松田 紀 道	
横浜	"	串田 素 宏	
静岡	"	飯田 節 男	
中部沿海	"	寺岡 洋 一	
東海	"	河合 重 則	(委任状)
富山石川	"	金尾 雅 行	(代,網谷吉博)
大阪	"	藤原 浩	
沿岸曳船	"	小田原 照 明	
兵庫	"	加藤 榮 一	
和歌山	"	田廣 芳 弘	(代,小林道明)
四海連	"	雑喉 平三郎	
中海連	"	埜野 廣 文	
九海連	"	木許 作 太	
沖繩	"	比嘉 榮 仁	(委任状)
		以上 18 会員	

第50回通常総会議事録署名人

会 長 (議長) 小比加恒久

副会長 雑喉平三郎

理 事 串田素宏